

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	さいとぼる 西都原古墳群	特別史跡	ストーリーの主題となる古墳景観の中核となる古墳群で、300基を超える古墳がある。古墳が造られたときに近い景観が現在も保たれている全国唯一の史跡である。	西都市
②	めきほづか 女狭穂塚古墳	未指定	陵墓参考地の一つで、西都原古墳群における重要な構成要素。九州一の大きさ(墳長176.3m)の前方後円墳で古墳時代中期(5世紀)における西都原古墳群の繁栄を端的に物語る古墳。	西都市
③	おさほづか 男狭穂塚古墳	未指定	陵墓参考地の一つで、西都原古墳群における重要な構成要素。帆立貝の平面形を有する古墳としては全国一の大きさ(墳長176m)で、古墳時代中期(5世紀)における西都原古墳群の繁栄を端的に物語る古墳。	西都市
④	西都原古墳群第206号墳 (おに いわや 鬼の窟古墳)	特別史跡	西都原古墳群最後の首長墓。古墳時代終末期に造られた直径36mの円墳で、二重の濠と高い土塁が特徴。埋葬施設は巨石積みの横穴式石室(内部見学可能)である。古墳周辺は四季折々の花々が咲き乱れる。	西都市
⑤	たかとりやま 高取山	未指定	西都原古墳群の位置する台地の最高所にある小高い丘(標高150m)。展望台からは古墳群を一望でき、古墳景観を体感できる重要な名勝地。	西都市
⑥	古墳へのこみち(きき 道の)	未指定	女狭穂塚古墳・男狭穂塚古墳と市街地(都萬神社等)を結ぶ小径(約4km)でストーリーの主題を補完するもの。小径沿いには、古墳景観から生じた神話伝承に関する旧跡名勝や古墳への祭事を担う神社が立ち並ぶ。	西都市
⑦	西都原古墳群出土遺物	未指定	ストーリーの中核である西都原古墳群から出土した遺物群。三角縁神獣鏡や短甲に代表される宝器や武器・武具、装飾品等の副葬品は、西都原古墳群の特徴のみならず、古墳時代の歴史を具体的に可視化できる資料である。	西都市
⑧	西都原古墳群出土埴輪 子持家・船	国重文	ストーリーを構成する西都原古墳群の第170号墳から出土した埴輪群。5軒の家が組み合う「子持ち家」は日本唯一の埴輪で、「船」は外洋の航海で交易する民のシンボルである。	西都市(複製品) ※現品は東京都台東区
⑨	日向国児湯郡西都原古墳 出土金銅製馬具	国宝	ストーリーを構成する西都原古墳群周辺で出土した遺物で、朝鮮半島からもたらされた一揃いの馬具である。古墳時代後期(6世紀)における東アジアを舞台とした外交や交流を具体的に物語る資料。	西都市(同素材の復元品) ※現品は東京都世田谷区

⑩	西都古墳まつり	未指定	室町時代にさかのぼる「山陵祭」や「御陵祭」が原型となるお祭りであり、西都原古墳群と人々のつながりを今に伝える催事である。毎年 11 月上旬の 2 日間に開催され、陵墓参考地の一般参拝も行われる。	西都市
⑪	にゅうたばる 新田原古墳群	国指定	ストーリーの中核となる西都原古墳群の周辺に広がる古墳景観エリアの一つ。207 基の古墳がある。古墳時代後期(6 世紀)の頃は南九州でも最大勢力を誇った。	新富町
⑫	新田原古墳群第 58 号墳 (百足塚古墳) 出土埴輪	未指定	ストーリーを構成する新田原古墳群の特徴を端的に示す出土品。墳丘に並べられた人物・動物・家・太鼓等の埴輪は西日本有数の質・量を誇り、畿内王権との関係性のなかで花開いた南九州の古墳文化の到達点を示す。	新富町
⑬	いきめ 生目古墳群	国指定	ストーリーの中核となる西都原古墳群の周辺に広がる古墳景観エリアの一つ。50 基の古墳がある。古墳時代前期(4 世紀)においては九州最大の規模を誇った。	宮崎市
⑭	生目古墳群出土遺物	未指定	ストーリーを構成する生目古墳群の特徴を端的に示す出土品。例えば、第 5 号墳出土の埴輪は胴体が筒のような形をした壺形埴輪で、全国的に珍しい独特の形状である。	宮崎市
⑮	はすがいけ 蓮ヶ池横穴墓群	国指定	ストーリーの中核となる西都原古墳群の周辺に広がる古墳景観エリアの一つ。横穴墓(家族の墓)は前方後円墳と並ぶ日本固有の墳墓である。古墳時代後期～終末期(6～7 世紀)にかけて約 80 基が山の斜面に掘られた。	宮崎市
⑯	宮崎市下北方地下式横穴 第 5 号出土品一括 したきたかたちかしまよこあな	国重文 (考古資料)	ストーリーの主題である古墳景観に関連して、古墳に葬られた南九州の豪族達のいであちとその生活ぶりを具体的に可視化できる資料。古墳時代中期(5 世紀)の地下式横穴墓から出土した副葬品で、武器・武具や生活用具および服飾品等で構成。古墳時代史が凝縮された資料でもある。	宮崎市
⑰	もちだ 持田古墳群	国史跡	ストーリーの中核となる西都原古墳群の周辺に広がる古墳景観エリアの一つ。85 基の古墳がある。古墳時代全時期(4～6 世紀)をとおして安定した勢力を保持した。	高鍋町
⑱	持田古墳群出土遺物	未指定 (有形文化財)	ストーリーを構成する持田古墳群を代表する出土品。副葬品の中でも青銅鏡や玉類の出土数は豊富である。長年にわたり畿内王権や朝鮮半島との結びつきがあった様子を示す。	西都市

⑭	持田古墳群第 15 号墳 (石舟塚) 出土石棺	未指定 (有形文化財)	ストーリーを構成する持田古墳群の石舟塚(第 15 号墳)から出土した阿蘇溶結凝灰岩で造られた構成文化財唯一の石棺。棺の大きさや道具(鉄のみ)の痕跡、棺内部の様子などを間近で観察できる貴重な資料。	高鍋町
⑮	たかなべだいら 高鍋大師	未指定 (有形文化財)	持田古墳群と共にストーリーを構成する巨大石像群。昭和初期の持田古墳群の大規模な乱掘に心を痛めた故岩岡保吉氏が私財をなげうち、古墳に眠る人々を慰霊するために半生をかけて造像した。地域住民が持田古墳群を大切に思う心が表現されている。持田古墳群とともに県の観光遺産に認定されている。	高鍋町

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例: 国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形等)。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。